

中学生が選挙啓発に一役！

19日、高円寺駅駅頭で地元の中学生などおよそ35人が、7月2日に行われる東京都議会議員選挙の投票を呼びかけました。その際に中学生が考えた有権者への啓発のメッセージを添えたガムを配布しました。

平成28年6月、公職選挙法が改正され、18歳選挙権が実現しました。その目的は、若者の政治意識を高めること、そして若者の意見をより政治に反映することです。この改正後、最初に行なわれた平成28年7月10日の参議院議員選挙での杉並区内の投票率は、全体で59.46%でした。そして、注目の10代の投票率は、平均を上回る65.04%という結果となりました。

18歳選挙権の話題が、新聞・テレビでも連日報道される中で、杉並区の10代の投票率は都内でも高水準となり、選挙への関心の高さを示す結果となりました。そこで、杉並区選挙管理委員会では、引き続き10代の選挙に対する興味を持続させるとともに、20代や30代の主に若年層の投票率向上を図ることを目的として、地元の中学生の力を借りることにしました。区内でも、若者世代が多く住む高円寺駅と区内の大学生を主なターゲットに、街頭啓発を行い直接、有権者の皆さんに投票を呼びかけることにしました。



19日午後5時、地域の明るい選挙推進委員とともに地元の高円寺中学校の生徒25名が、駅頭で東京都議会議員選挙への投票を呼びかけました。また、選挙啓発として、生徒たちが考えたメッセージ付きのガムやウェットティッシュも配布しました。メッセージは、「ぼくたちの未来のために投票だ！」や「その紙にあなたの思い届けよう」など、生徒一人ひとりの選挙に対する思いが綴られています。このメッセージは21日以降区ホームページで公開する予定です。

また、20日から22日にかけて区内の女子美術大学や明治大学、高千穂大学の構内で街頭啓発を行い、ガムやウェットティッシュを配布する予定です。

【問い合わせ先】

選挙管理委員会事務局： 03-3312-2111 内線3804